

特定非営利活動法人 かものはしプロジェクト  
2006年度年次報告書



**kamonohashi** project  
Annual Report 2006

## かものはしの使命

カンボジアの児童買春被害者15,000人を、  
0人にする。

## 目次

- |    |                     |
|----|---------------------|
| 1  | 使命                  |
| 2  | 目次                  |
| 3  | かものはしプロジェクトの特徴      |
| 5  | コミュニティファクトリー事業      |
| 6  | これまでの軌跡を辿る          |
| 7  | コミュニティファクトリーの意義と戦略  |
| 8  | コミュニティファクトリーをとりまく人々 |
| 9  | PCスクール              |
| 10 | 未来にはばたく少女           |
| 11 | IT事業                |
| 12 | サポーター事業             |
| 13 | スタディーツアー／ゆるかもDebut！ |
| 14 | クリスマスパーティー／ミッショナリー  |
| 15 | 財務                  |
| 17 | 協賛企業・団体一覧           |
| 18 | 代表挨拶                |

### 編集方針

本年度(2006年度)の報告書は、多くの写真を使用し、皆様に気軽に読んで頂けるものを目指し、編集致しました。かものはしプロジェクトのことについて、初めて読まれる方でもご理解頂ける様、事業の特徴などについても記載しております。サポーターの皆様、お取引先様、そしてそのご家族の皆様にご覧頂ければ幸いです。

山崎惇史



三大事業で、子どもを守る

## かものはしプロジェクトの活動内容と特徴

### コミュニティファクトリー事業 子どもの笑顔を確実に守る

### 児童買春問題解決への 3つの事業

### IT事業

全事業を加速させる

### サポーター事業

笑顔の連鎖を作り出す

## コミュニティファクトリー事業

確実に救われる仕組みをつくる

農村では貧困ゆえに、売られていく子どもがあとを絶ちません。この状況を解決するために、私たちは農村で職業訓練を行い、村人達が安定した収入を得られる仕組みをつくります。現金収入の道を開くことで、貧しさゆえに子どもが売られてしまう問題を未然に防ぎます。

カンボジア全土に大規模展開

職業訓練で得られたスキルを基に、ハンディクラフト（手芸品）をつくり、販売します。観光客向けやカンボジア市場向けに販売し、その収入で2008年度までに200世帯を自立させます。そこで得たノウハウをカンボジア全土に展開し、子ども達が夢を持って生きられる世界を実現します。



ファクトリーで作られたハンディクラフト



職業訓練中の女性

THE PROFESSIONAL  
HTML  
+  
CSS  
CODING

制作したWEBサイト



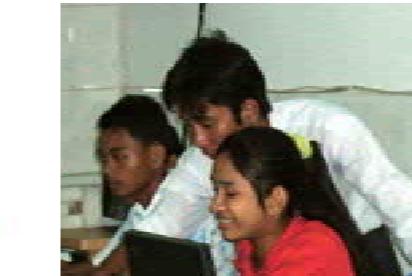
## IT事業

安定した資金供給源

IT事業では企業のWEBサイトを製作しており、かものはしプロジェクトの資金供給源となっています。この資金はコミュニティファクトリー事業の展開を加速させています。

未来にはばたく子どもを育成

強みのITを活かし、カンボジアで子ども達に職業訓練としてパソコン教育を行っています。将来は日本で受注している仕事の一部をカンボジアに発注し、カンボジアに仕事を創ります。



PCスクールの様子

## サポーター事業

子ども達の未来を守る仲間を募集しています。

私たちは月々1000円でカンボジアの子どもたちを応援していただける、かものはしサポーターを募集しています。

カンボジアと日本を結び、笑顔の連鎖を生みだす。

カンボジアや事業の情報を、WEBやイベントなどを通して、お伝えします。カンボジアと日本が結ばれ、カンボジアで生まれた笑顔が日本に笑顔をもたらす。そして、再び日本の笑顔がカンボジアに。こうして笑顔の連鎖が始まります。



農村の子どもと交流したプロジェクト



スタディツアーやのコマ

# 農村で子どもの笑顔を確実に守る コミュニティファクトリー事業

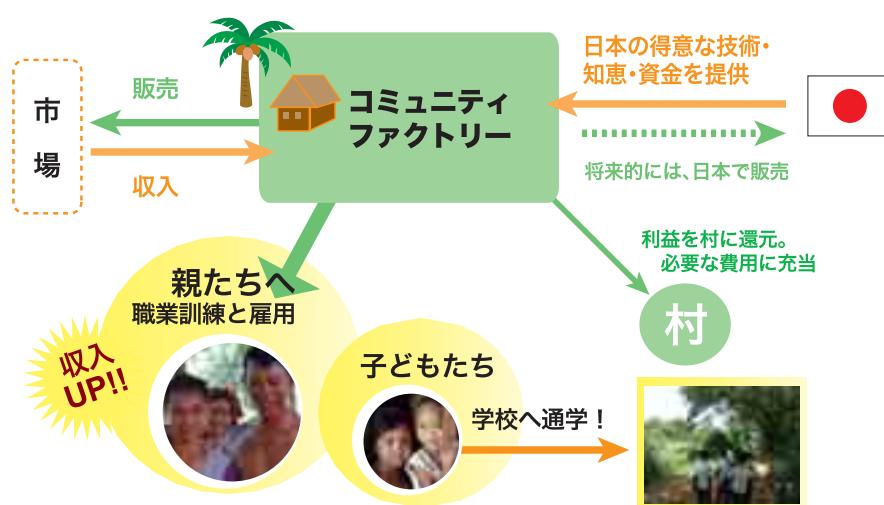


コミュニティファクトリー事業では、今後の規模拡大に向けて2006年度は試験的プロジェクトを実施しました。18人の訓練生を雇用し給与を支給することができ、着実に一步を踏み出しています。

## コミュニティファクトリーとは

カンボジアの農村には貧しいあまり、町に身売りせざるを得ない子ども達がいます。そういう子を一人でも減らすため、村に仕事をつくり収入を向上させていきます。それがコミュニティファクトリー(以下ファクトリー)です。

## 村に仕事と教育を



コミュニティファクトリーモデル図

- ・貧しい村人に職業訓練を行い、雇用を創出します。そして教育も提供することで、村のリーダーとなる人材を育成していきます。
- ・ファクトリーでハンディクラフト製品(手工芸品)をつくり、販売します。村に仕事を提供するとともに運営費を稼ぎます。
- ・ファクトリーで得た利益は井戸、池、トイレ等、村のコミュニティに還元されます。

# これまでの軌跡を辿る

2006/09 プロジェクト実施決定

- 今後の大規模展開に備えた試験的展開と位置づけ、プロジェクトスタート
- 農村調査とハンディクラフトのマーケティング調査を実施！
- 現地NGOと提携。計画を共同で立案

1 目標達成で自信がもてるようになった！

～いぐさマット織りコンテスト開催～



2006/12 ファクトリー完成！

- 農村開発チームが結成され、アンコールワット遺跡から車で約1時間の距離にある、村での活動開始
- ファクトリーを建設するための土地探しが難航。なんとか村人達にファクトリーの意義への理解を得られ、土地を提供してもらい建設へ

いぐさ織りの目標達成に自信がない訓練生たち。やればできる！ということを実感してもらうためにファクトリー内でコンテストを開催。それぞれ真剣に取り組み、1日の目標値（2.5メートル）をクリアして自信がもてるようになりました！

2 研修課程をクリア！

～自立へ向けていぐさ製品販売開始～



2007/01 職業訓練開始！

- ついに、40人で職業訓練スタート！
- 家庭の事情などにより徐々に訓練生が脱落していく18人となる（そのうちの何人かはスタッフの家庭訪問により食い止めることができた）
- いぐさマット織りコンテストを開始（↗①）

ファクトリーで生産された、いぐさ製品。今後は販売先を増やしていきます。販売収益で訓練生が自立して生活できるようになり、ファクトリー自体も援助に頼る事なく自立を目指していきます。

2007/04 ビジネス展開へ！

- 訓練期間が終わり、ファクトリーで作られた製品を販売へ（↗②）
- 営業先からの注文により、製品の質の向上などを改善をくり返す
- レストランと共同開発の製品をつくる。企業と契約し、空港で製品販売するなど、ビジネス段階に突入。しかしノウハウや人材の不足により営業が不調
- 識字教育スタート！（↗③）

3 読み書きできるようになりたい！

～識字教育はじまる～



訓練生からの要望があり、識字教育がスタート！ただの職業訓練所ではなく、働く人々の声を汲み取り、生活向上を目指すことで、コミュニティとしても強化していきます。

製品の販売を強化し、秋にはさらに30～50名に職業訓練を提供。

**2008年度までに、200世帯に雇用を創出し、1000人の子ども達を守ります！！**

# コミュニティファクトリーの意義と戦略

## 児童買春問題の根本原因を読み解く

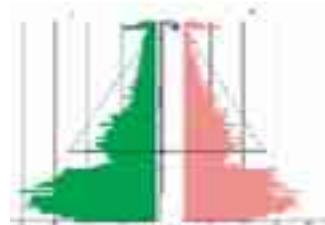
### コミュニティファクトリーの意義

#### 根本原因1：不安定な農業収入と危険な出稼ぎ

カンボジアは内戦による虐殺の結果、30～50代が極端に少ない人口構成となっているため、働き手が極端に少ない状況です。

また農村ではもともと作地面積が小さく、子だくさんの家族が多いため、相続時に分配される面積がとても小さくなります。農業だけでは安定した収入が見込めないという厳しい現実が貧困問題の原因に繋がっています。

それゆえ、副収入を得るため、子ども達が出稼ぎに行かざるを得ません。その出稼ぎ先でだまされて売春宿で働かされるといった被害が多発し、深刻な児童買春問題を引き起こしています。



人口ピラミッド  
(出典:総務省統計局)



貧困に悩まされる農村

#### 根本原因2：破壊されたコミュニティ

内戦により、リーダーとなる人材を失った村は組織(コミュニティ)としての機能が低下しました。そのため、村の人同士で協力する事が少くなり、村人が騙されて売春宿に連れて行かれそうになっても、それを抑止できないといった状況があります。

**農業以外の仕事を創り、コミュニティとしての繋がりを強化。  
児童買春被害に遭う危険性を未然に防ぐ。**

**これがコミュニティファクトリーの意義**

### 児童買春問題を撲滅する戦略とは

#### 横展開し規模拡大へ！

コミュニティファクトリーのモデルを他の農村でも展開し、それぞれのファクトリーの利益をもとにファクトリー自体が自立していきます。

カンボジアで売られているものの多くは国外からの輸入品なのです。組織的に大規模生産していくことで、輸入品よりいいものを安く提供していきます。

その結果、村人に雇用と収入をうむことができ、出稼ぎを食い止め、児童買春問題を撲滅させます！



かものはしスタッフと  
農村の子どもたち

# コミュニティファクトリーをとりまく人々

## 一家の命運背負う15歳の少女 ~ファクトリー訓練生 インちゃん~



インちゃんの笑顔を守る事ができました！

インちゃんのお父さんはタイに出稼ぎに行ったまま失踪し、お母さんはエイズのため亡くなりました。おばあさんと3人の弟妹と暮らしていましたが、先日、弟もエイズが発症しこの世を去ってしまいました。

そのため、彼女は15歳ですが一家の稼ぎ頭にならなければならず、危険を伴う出稼ぎに行く決意を固めました。この年頃の女の子の出稼ぎは、だまされて売春宿で労働を強いられるなど、かなり危険です。

しかし、出稼ぎ直前にファクトリーが建設されました。ファクトリーで働く事で、収入を得ることができますので、インちゃんは出稼ぎを踏みとどまることができました。つい先日、懸命に技術習得に励むインちゃんのもとへ亡くなったと思われたお父さんが突然現れました。インちゃんと二人の妹はお父さんに引き取られ、今後は家族と一緒に暮らしていくようです。

訓練生達が、ファクトリーで働くことで収入を得られ、都市へ出稼ぎに行かずにすみます。

## 農村の収入向上に挑む カンボジア駐在員 大窪玲子 ~現場の苦悩と手応え~



現地にとけ込むため  
メール語も学習中！

農村では予測できない事態が起こります。特に活動地域の農民との関係構築には一番骨が折れる分、学ぶところがあります。訓練生を40人集めたところ、開校初日に3人しか来なかったり、他にも雨が降ると道が冠水したり、いぐさにカビが生えたり、目の前が暗くなることもしばしばです。

それでも一つ一つ丁寧に問題解決を行い、一步一步前進しています。

現場では「もしコミュニティファクトリーがなかったら出稼ぎにでていた」「働く場所が家の近くにあるおかげで娘を遠くにやらずにすんで嬉しい」などの声を聞くことがあります。私たちの活動が、危険な出稼ぎを食い止める理由となっていることを、実感できることが一番嬉しい瞬間です。今後とも応援宜しくお願ひします。

## ユニークなアプローチ。今後は人材育成が鍵



かものはしにいつもアドバイスをくださっています

ビジネスマインドを取り入れた社会開発事業「コミュニティファクトリー」は、問題解決へのユニークなアプローチだと思います。

ここ暫くは、スタッフや提携団体の人材育成がポイントになると思います。これを乗り切ることで、かものはしプロジェクトの事業とそれを支える組織がパワーアップされるものと期待しています。

エネルギーッシュな若い組織かものはしプロジェクトから、今後多くの子ども達が守られる事を期待しています。

元国際協力NGO カンボジア駐在員 石関正浩

# ITを武器に未来を切り開く！ 規模拡大し120人が参加した3年目。 PCスクール

## PCスクールとは？

2006年度もPCスクールを継続して実施しました。PCスクールは孤児院の子ども達の職業選択の幅を広げることを目的としており、2004年より活動を開始しています。



## 規模拡大～100人超えた修了生～

対象とする子ども達は、ゴミ山での生活や家庭内の虐待から保護された10歳～18歳の子ども達です。夢も希望も持てなかった子ども達が、PCを学ぶことで、将来の可能性が広がっていきます。

今回のPCスクールは13の孤児院に所属する、120人の子ども達を教えることができました。パソコンに初めてふれる子ども達でしたが、修了までにパソコンの基本スキルとなるワードとエクセルを使えるようになりました。右は修了式の写真です。



今では必要不可欠な  
高速インターネット

## 高速インターネットサービスが入る！

2006年の11月より、財団法人KDDIエンジニアリング・アンド・コンサルタンティング様のご提供で、かものはしプロジェクトオフィスに衛星での高速インターネットサービスが導入されました。

カンボジアではインターネットの使用量に制限があるため、衛星での無制限のインターネット提供はとても重宝しております。

インターネットが自由に使えるようになり、PCスクールの子ども達も、空いた時間を見つけては、かものはしオフィスに立ち寄り、世界中にいる彼(女)らの養父母にメールを送信しています。

# ヴァナリーちゃんヒストリー

PCスクールを修了し、就職を決めた18才。



## 未来にはばたく少女！

今回のPCスクールから、見事就職することができた生徒がでました。18才のヴァナリーちゃんは幼い頃に家庭内暴力の被害に遭い、11才の時に孤児院に保護されました。孤児院からPCスクールに通い、そのスキルが評価され、プロンペン市内のインターナショナル・スクールで事務の仕事に就くことができました。現在はPCスクールで学んだワードやエクセルを駆使し、生徒の情報管理などを行っています。

今後もPCスクールで学んだ事を活かし未来に向かってはばたいて欲しいと思います。

## 学べてよかったです、この3ヶ月



PCスキルは就職するために本当に必要だと思います。かものはしで3ヶ月間、タイピング、マイクロソフトワード、エクセルそしてインターネットを学びました。勉強は楽しかったのですが、難しい部分もたくさんありました。でも、先生や自分のやる気のおかげで無事にクラスを修了することができました。PCスキルを学べて本当によかったです！

修了生 ヴァナリーちゃん(18)

## 未来を切り開いた努力に感動



彼女は2006年の11月から1月まで、一度も休まずに出席し、とても一生懸命勉強していました。PCスクールで学んだことで彼女が自分の未来を切り開いてくれたことに、とても感激しています。

PCスクール教師 テヴィー(24)

# IT事業が成長する。だからコミュニティファクトリーも加速する IT事業

## IT事業とは

IT事業は、カンボジアに雇用を生み出すIT事業の発掘と、かものはし全体の資金調達を目的に活動する事業です。現在は日本企業のWEB制作から一部の作業を受注し、売上を出しています。



## 売上高520%増、4000万円突破！～驚異の飛躍～

売上高は前年度比520%増の4000万円となり、常勤職員も4名増加して8名となりました。その結果、より多くの資金をカンボジアでの事業開発に投入できることとなり、全体の事業の加速に貢献することができました。

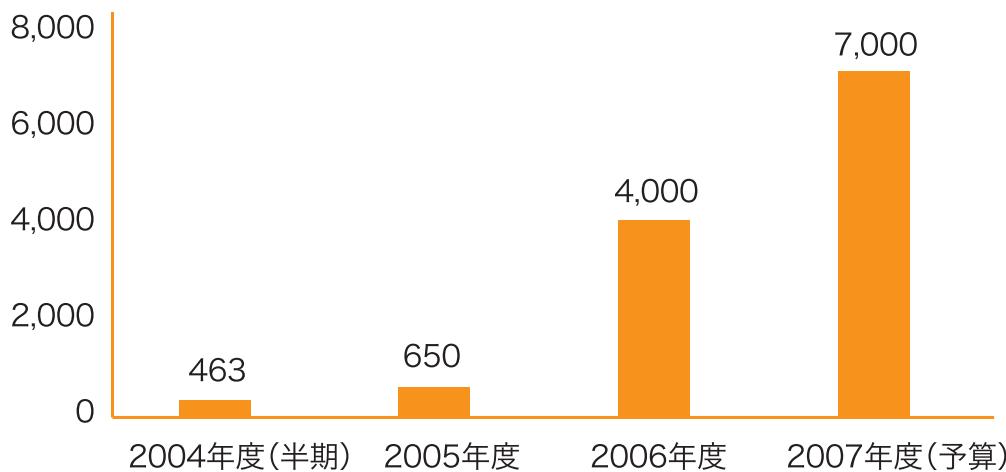
成長できた要因は、2005年度後半より、一つの分野に力を注ぐこととなり、ノウハウが蓄積されたことです。

2007年度も引き続き大きく成長させていこうと考えております。そして、2008年度以降には現在取り組んでいる事業(HTMLコーディング)以外の分野への進出、カンボジアでの展開も視野に入れて事業を進めて参ります。



売上高推移(単位:万円)

■ 売上



2006年度は人員増加とノウハウの蓄積が形となり、売上高が4000万円を突破しました。2007年度は2006年度に蓄積した信頼とノウハウを基にさらに成長する見込みです。

## 広がる共感の輪。かものはしサポーター228人増加！

# サポーター事業

サポーター事業では、カンボジアと子ども達を応援してくださる方を募集しています。  
楽しく学びのあるサポーター制度を目指しています。2006年度は様々なプロジェクトやイベントを行いました。

### 帯プロジェクト カンボジアシルクを浴衣の帯に～ファッション×社会貢献～

#### デザイナーとのコラボレーションが実現

2006年夏に、デザイナーの高橋理子さんのブランドHIROCOLEDGEとのコラボレーションが実現。カンボジアのシルクで着物の帯を仕立て、販売する「帯プロジェクト」を実施しました。

#### 各種メディアで大反響

日本で帯を販売し、その売上で現地の女性達を支援する試みです。「日本の伝統×カンボジアの伝統」、「ファッション×社会貢献」という斬新な切り口のプロジェクトとして、Yahoo!をはじめ各種メディアで大きな反響を呼びました。



シルクを織る女性達



カンボジアシルクで仕立てられた帯

### 心意気プロジェクト 参加者400人超え！子ども達をメッセージで応援！

#### 初の試み！心意気で社会貢献

心意気プロジェクトとは、貧困や虐待で心に深い傷を負った孤児院の子ども達に、「心意気ある日本人の人から応援メッセージを送ろう！」というコンセプトのプロジェクトです。

9月から12月の間に応援メッセージが400人分も集まり、1月にはそのメッセージをカレンダーにして孤児院の子ども達に贈呈しました。



心意気が詰まったカレンダー

#### PCに託された日本人の共感

参加者からの応援メッセージをWEBに掲載し、そのメッセージに共感したら「共感ボタン」をクリック！1クリック=1円が寄付される仕組みをつくりました。

1ヶ月で5万クリックを目標していましたが、なんと3週間で上限の10万クリックに到達！予想以上の反響でした。ご寄付いただいたお金でPCを子ども達に贈りました。



PCを寄贈しました！

# スタディーツアー



## カンボジアの社会問題が他人事じやなくなっちゃった

今年度も、カンボジア・スタディーツアーを4回催行致しました。現地の人と触れあってカンボジアを丸ごと味わうという、濃い体験を提供できたと自負しています。特に孤児院、ごみ山、コミュニティファクトリー等への訪問は大好評でした。



# ゆるかもDebut！

## ゆるやかな関わり方でもかものはし

ゆるかもとは、「スタッフやインターになるには忙しくて難しい。けれどカンボジアの子ども達のために、ちょっとした時間でかものはしと関わりたい！」そんな想いを持った学生・社会人による新しいチームです。



白熱した世界地図すごろく

## 初めての企画会議、気づいたら徹夜でした！

現在ゆるかもは学生10人・社会人4人で構成され、みんなが参加できる楽しい企画を練っています。

スタディーツアーが始まるまでは、みんなでオフィスに泊まり込み、企画会議。あれやこれやの大激論はチームとしての一体感を生みました！

スタディーツアーでは、世界を旅したいという子ども達のためにアンコールワット遠足と、世界を知ってもらうための「世界地図すごろく」で遊びました。



# クリスマスパーティー

## 子ども達に捧げた80人の大熱唱！

渋谷のダイニングバーを貸し切り、事業報告と交流を目的としたクリスマスパーティーを行いました。かものはしサポーター、サポーターのご友人など20代～60代、80人の方が集まり、熱気あふれるパーティーになりました。

楽しく学べるクイズ形式のカンボジア事業報告で学び合い、子ども達とのクリスマスソングの交換で、盛り上がりも絶頂を迎えるました。

「すごく楽しかった」「また来年も参加したい」という意見を多く頂き、2007年はより多くの人に参加してもらえるような楽しいパーティーにしていきます。



# ミッショナリー

## 人脈・知恵・経験で貢献。ミッショナリー制度始めました！

ミッショナリーとは、ビジネスや実務で蓄積された「人脈」「知恵」「経験」で、かものはしの支援者拡大に貢献してくださる方のことです。毎月第二木曜日に、ミッショナリーの方々、当団体に興味をお持ちの方にお集まりいただく「二木会」を開催しております。そこで、まずかものはしの活動を知っていただき、支援者になってくださりそうな方や講演先をご紹介いただいたり、アドバイスをいただいております。かものはしの活動に大きく貢献していただいております。



二木会にていぐさ製品を  
ご紹介

## 広がる共感の輪 ～今後もご期待ください！～

2006年度はサポーター事業にとって「初めて」が盛りだくさんの年でした。帯プロジェクトと心意気プロジェクトという2大プロジェクトでは、生みの苦しみがあり試行錯誤を繰り返しました。非常に苦労しましたが、その甲斐もあって多くの方に社会貢献への第一歩を提供できたと手応えを感じています。

共感の輪は着実に広がっています。2007年度もより多くの方にご参加いただき、カンボジアへ笑顔をもたらせるように努力して行きたいと思います。

# 財務ハイライト 2006年度決算

平成18年4月1日～  
平成19年3月31日

## 損益計算書

単位:千円

科目	06決算			06予算		科目
I 経常収入の部						
1 IT事業	40,702	40,702		18,000	18,000	226%
2 サポーター事業				4,489		
会費収入	3,254			4,700		
寄附金収入	7,603			3,700		
民間助成金	1,741			930	13,819	100%
その他	1,167	13,765		1,900	1,900	168%
3 スタディツアーア事業	3,183	3,183		0	0	-
4 コミュニティファクトリー事業	198	198		0	0	-
5 その他(利息/為替差益)	185	185		0	0	-
経常収入合計		58,033			33,719	172%
II 経常支出の部						
1 IT事業	22,242	22,242		12,658	12,658	176%
2 サポーター事業	1,895	1,895		2,208	2,208	86%
3 スタディツアーア事業	2,083	2,083		700	700	298%
4 日本事務局	8,970	8,970		7,590	7,590	118%
5 カンボジア事務局	5,907	5,907		6,415	6,415	92%
6 PCスクール事業	1,202	1,202		518	518	232%
7 コミュニティファクトリー事業	5,217	5,217		2,334	2,334	224%
8 その他(雑損失/為替差損)	237	237		0	0	-
経常支出合計		47,753			32,423	147%
<b>経常収支差額</b>		<b>10,280</b>			<b>1,296</b>	<b>793%</b>
III その他資金収入の部						
1 その他の事業会計繰入金収入	0	0		0	0	0
IV その他の資金支出の部						
1 法人税など	789	789		825	825	825
その他資金収支差額		789				96%
<b>当期収支差額</b>			<b>9,491</b>		<b>471</b>	<b>2015%</b>
前期繰越収支差額			4,710			
<b>次期繰越収支差額</b>			<b>14,201</b>			

## 貸借対照表

単位:千円

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		I 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金	913	短期借入金	0
普通預金	11,127	未払金	6,206
売掛金	8,355	未払法人税等	789
立替金	208	預り金	125
流動資産合計	20,603	仮受金	0
2 固定資産		流動負債合計	7,120
建物	0	III 正味財産の部	
車両運搬具	719	資本金	500
土地	0	前期繰越正味財産	4,210
固定資産合計	719	当期未処分損益	9,491
資産合計	21,322	正味財産合計	14,201
		負債および正味財産合計	21,321

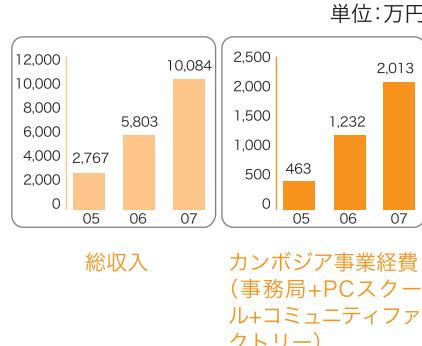
## 07年度予算

単位:千円

科目	07予算		06決算	増減率
I 経常収入の部				
1 IT事業	68,640	68,640	40,702	169%
2 サポーター事業				
会費収入	4,000			
寄付金収入	6,000			
助成金収入	3,000			
その他収入	1,000	14,000	13,765	102%
3 スタディツアーア事業	3,000	3,000	3,183	94%
4 コミュニティファクトリー事業	1,000	1,000	198	505%
5 その他(利息/為替差益)	0	0	185	-
当期収入合計(A)		86,640	58,033	149%
前期繰越金(B)			14,201	
収入合計(C=A+B)			100,841	
II 経常支出の部				
1 IT事業	38,774	38,774	22,242	174%
2 サポーター事業	6,304	6,304	1,895	333%
3 スタディツアーア事業	2,080	2,080	2,083	100%
4 日本事務局	11,273	11,273	8,970	126%
5 カンボジア事務局	11,724	11,724	5,907	198%
6 PCスクール事業	1,837	1,837	1,202	153%
7 コミュニティファクトリー事業	6,575	6,575	5,217	126%
8 その他(雑損失/為替差損)	0	0	237	-
当期支出合計(D)		78,567	47,753	165%
当期収支(A-D)			8,073	
最終(C-D)			10,280	79%
			22,274	

## 財務に関する分析

- 06年度収入規模は、IT事業の好調ゆえ05年度比2倍となりました。その結果としてカンボジアでの事業規模も順調に拡大しました。07年度はIT事業を成長させるとともに、収入のもう一つの柱であるサポーター事業を強化してまいります。
- カンボジアでの事業規模は05年度比3倍になっています。これは、コムニティファクトリー事業をスタートさせたためです。これにより06年07年にノウハウを蓄積し、07年度後半から受益者数を100人規模へと展開する予定です。
- カンボジア/日本組織ともに組織基盤を強化するために、06年度に社会保険の導入、07年度に給与水準を上昇させています。



※ 1000円未満は四捨五入しているため、数字の合計が一致しません。

※ 06年度予算のSMEは06年度決算のコムニティファクトリーに対応します。

※ 05年度の収入に関して、スタディツアーア事業 のうち、「売上」として計上していたものの中で、本来「預り金」として計上し、「売上」として計上するべきでないものがありましたので、これを修正しています。

# 協賛企業・団体一覧



NEC 株式会社クリエイト 株式会社セントラル総合研究所 株式会社セールスフォース・ドットコム 株式会社ニューテクノロジー

2004を受け継ぐ会

神田お玉ヶ池法律事務所

Bright Smile Clear Vison

キャップネット有限会社

C°

成蹊大学 国際協力サークルM.I.X.

成蹊大学 DANCE TEAM JAM[z]

さいたまロイヤルライオンズクラブ

English Robin, Inc.

財団法人KDDIエンジニアリング・アンド・コンサルティング

NPO法人ケア・センターやわらぎ

住友生命保険相互会社

Panasonic NPOサポートファンド

東京海上日動火災保険株式会社

アジアンヒールジャム

東京中小企業家同友会有志

柏木建設株式会社

富士ゼロックス株式会社

株式会社アイスリーデザイン

富士ゼロックス株式会社端数クラブ

株式会社あっ！とモバイル

日本電算機販売株式会社

株式会社エーシースペースタムラ

フェリス女学院大学奨学会

株式会社エムノヴィータ

プラス・カスミッシュモ

株式会社サキヨーポレーション

真夏に第九を歌う会

株式会社ジャクパ

三井住友海上火災保険株式会社

株式会社ネクシーズ

三井住友海上火災保険株式会社スマイルハートクラブ

株式会社ノイロン

椰子の芽会

株式会社ハイバーテック

有限会社キャエリアファクトリー

株式会社マイテック

有限会社グローバル・アイ

株式会社マジカルポケット

有限会社ボランタス

株式会社リコー社会貢献クラブFreeWill

有限会社テニスピアジュエ

株式会社日本航空

企業・団体様のみ記載いたしております。

下記の企業・団体様からは、報告書の印刷費用をご協賛いただいております。

NEC 株式会社ニューテクノロジー 神田お玉ヶ池法律事務所

敬称略・アルファベット、五十音順

# 代表挨拶

06年度は農村に入り込み、体当たりでプロジェクトをスタートしました。さまざまなことを体で実感することができました。その意味で06年度は成功だったと考えています。この体当たりを支えたのがIT事業の急成長でした。

商品を村人とつくり、売る、そしてファクトリーの運営費を稼ぐことで初めて日本からの寄付に依存せず、村の人たちが自立していくことが可能になります。この「ビジネス」面を構築することが07年度の大きなテーマです。

活動を開始し、5年目を迎えました。資金面で協力頂いた方、厳しく問題点を指摘して頂いた方、営業先を紹介して頂いた方、励ましてくださった方、この5年間で応援して頂いた様々な顔が思い浮かんできます。ここまで事業をすすめられたのは皆さまのおかげだと、心から感謝しております。

これからもよろしくお願ひいたします。

共同代表 村田早耶香・本木恵介・青木健太



## 団体概要

団体名	特定非営利活動法人かものはしプロジェクト
設立日	2002年7月18日 設立 2004年9月22日 NPO法人格取得
事業内容	カンボジアにおける職業訓練センター事業 カンボジアと日本とのIT事業
役員	共同代表:村田早耶香 共同代表:本木恵介 共同代表:青木健太
監事	平野雅幸
銀行口座・郵便口座	三菱東京UFJ銀行 渋谷中央支店 普通預金:6976678 名義:トクヒ)かものはしプロジェクト 代表理事村田早耶香
	郵便振替 口座番号:00130-8-334289 口座名:特定非営利活動法人かものはしプロジェクト
連絡先	TEL/FAX:03-5454-3082 URL: <a href="http://www.kamonohashi-project.net/">http://www.kamonohashi-project.net/</a> E-mail: <a href="mailto:info@kamonohashi-project.net">info@kamonohashi-project.net</a>
日本事務所の所在地	〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-1永田ビル2階 京王井ノ頭線神泉駅徒歩3分